

げんきいっぱい えがおいっぱい みらいっこ

第17回 みらいっこまつり 御協力をいただきありがとうございました！！

皆様の御協力のもと、「第17回 みらいっこまつり」を無事に終えることができました。

今年度は12月16日・17日の2日間で4700人余りの親子が来館され、共同機構の皆様に御協力をいただいた楽しい歌や踊りのコンサート、エアマットや赤ちゃんコーナー、ボランティアの方々による人形劇や歌のコンサート、フラダンス、お茶席体験、似顔絵コーナー、おもちゃ病院など数々のイベントをみらい館で楽しんでいただくことができました。師走のお忙しい中、御協力ありがとうございました。



「エアマットで
あそぼう」

(公社)京都市保育園連盟

元気な子どもたちでいつも満員。ひとりでびよん！びよん！と跳んだり、みんなで一緒にびよんと跳んでみたりと楽しそうでした。



「ラーメンマンと
ラーメン体操をしよう」
京都市保育士会

可愛いラーメンマンの登場に子どもたちも興味津々。ラーメン体操を楽しんだ後は、保護者の皆さんも一緒に踊って楽しみました。



「赤ちゃん
ほっこりコーナー」

京都市営保育所長会

赤ちゃんが広いお部屋で寝返りやハイハイでのびのび遊びました。ママたちはおしゃべりしたり、保育士が育児のお話を伺いながらほっこりタイムを過ごしました。



「みんななかよし
お楽しみ会」

京都市立幼稚園長会

歌や演奏、大型絵本の読み聞かせ、楽しい手品など盛りだくさんで、「次はなにかなあ」と、わくわくドキドキの子どもたちでした。



「みらいっこ
わくわくコンサート」

(公社)京都市私立幼稚園協会

元気いっぱいの先生たちと子どもたちが一緒になって、歌ったり踊ったりして会場は熱気にあふれ大盛り上がりでした。

子どもの安心基地になるために～アタッチメントとは～

講師 北川 恵 甲南大学教授

アタッチメントとはくっつくという意味で、恐れ調整を目的とする人の本能的な欲求です。血縁とは関係なく、普段世話をしてくれる養育者がアタッチメント対象となります。子どもは自分で恐れ調整をほとんどできないので、怖いと感じた時に、強くて大きい大人にくっつくことで安心感を得ようとするのです。

子どもは十分な安心感があれば好奇心をもって自ら活動します。これを探索といい、十分な探索から発達を促されますが、ベースに心が大丈夫だという安心感があることが大切です。怖い時はアタッチメント欲求、そして安心な時は探索欲求が優先され、子どもは、不安な時には安全な避難所としての養育者に気持ちを落ち着かせてもらい、満たされると探索へ出かけ、そして再び不安になると養育者の所に戻ります。子どもが養育者を中心として輪のように動くことを「安心感の輪」といいます。

アタッチメント理論の研究で、子どもはアタッチメントが満たされていると、人とのつながりを実感し、そして自分や他人にプラスの期待がもて、感情を整えられるようになることが報告されています。子どもの不安を落ち着かせる責任は大人にあります。健全なアタッチメントの形成には、親が、子のシグナルから求めている通りに応じる割合は3割で良いと言われています。大切なことは、ああかな、こうかなと子どもの不安な気持ちに思いをはせ、寄り添った言葉かけをすることです。人は自分に真剣に向き合ってくれる大人に出会うと、良いアタッチメントに修正されます。自分が関わっている子どもとの関係で、このような役割があることを覚えておいてください。

講義の詳細は、要録ページをご覧ください。 [要録ページへ](#)

虐待予防と子育て支援

～親の悩みにどう寄り添えるのか～

講師 西 順子 女性ライフサイクル研究所所長

本日のテーマは虐待予防と子育て支援です。サブテーマとして「親の悩みにどう寄り添えるのか」とした理由は、臨床心理士として日々の親支援のなかで、親に寄り添えるよう心掛けながらも、寄り添えきれないこともあり、どう寄り添えるだろうかと試行錯誤しているからです。中断となったケースでは、もっとどうすればよかったかと今後の課題として考えることが多いです。

今日の検討事例は、DVに晒された母子のケースですが、結果として、保育所入所したこと、周りの人々に支えられ(エンパワメント)母子共に元気になっていったことが何よりよかったです。母は、保育所の先生に子育ての悩みを話すことができるようになり、少しずついろいろな話しができるようになっていきました。

子育て支援としては、虐待としてひどくなる前に、地域のつながりを作って連携し、カンファレンスを持つことが有効です。カンファレンスをする中で、各関係機関の見方の違いや役割分担を確認でき、支援に結びつきます。エコマップを作成しながら知恵を出し合っただけで考えた地域のつながりを知っておき、何処にどのような役割の人がいて、どのような支援があるのかを把握しておくことで様々な親子の支援の可能性が広がります。ここで検討しあった知恵を元に、今後も虐待予防と子育て支援が充実し、親子が安心安全に暮らしていけることを願っています。

講義の詳細は、要録ページをご覧ください。 [要録ページへ](#)

*上記2つの要約は、講義をもとに編集したものです。

子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。
「京都はぐくみ憲章」より



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!



発行日 平成29年1月21日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町601-1
Tel (075)254-5001 Fax (075)212-9909
URL <http://www.kodonomirai.or.jp>